

# チュラロンコーン大学 - 東京医科歯科大学研究教育協力センター

## ニュースレター 第1号

2013年4月1日



### ニュースレター発刊の挨拶

本学は、海外拠点をタイ、ガーナ、チリに有しております。特にタイにおいては、チュラロンコーン大学歯学部と20年以上に及ぶ研究、教育分野の協力関係があり、本学への留学生は、100名を超えました。一方、医学部も2002年に学術交流協定を結び、留学生の受け入れ、プロジェクトセメスターを利用した本学学生の派遣などの交流を行っております。

このような大学間の交流、協力をさらに発展させたいとの両大学の意向により、2010年11月23日、チュラロンコーン大学にチュラロンコーン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センター（CU-TMDU Research and Education Collaboration Center）を開設しました。

同センターでは、医歯学教育や共同研究の推進、本学への留学希望者への情報提供、元留学生へのサポート、さらにタイ在住の日本人への健康教育支援や情報提供を行うことを主な目的としています。

2011年、タイは50年ぶりの大洪水に見舞われ、バンコクも被害を受けました。そのため、本格的な交流を行えず、本学と同センターに設置したTV会議システムを活用して連絡を取り、協力を行いました。洪水の引いた2012年から本格的に活動を開始しました。

ここに、皆様にセンターの活動を理解していただくと共に、本センターを活用していただきたく、ニュースレターを発行することとしました。また、ニュースレターでは、センターの活動と共に、「微笑みの国」タイの一面をご紹介します、タイに対する理解を深めていただきたいと思います。

最後に、皆様のご理解とご協力を頂きながら、より良いセンター、読みやすいニュースレターにしていきたいと思っております。皆様からの忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



(大山庄長及びピロム学長による開所式テープカット)

タイ拠点運営管理者  
大学院医歯学総合研究科  
健康推進歯学分野  
教授 川口陽子

## センターの概要

チュラロンコーン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センター（以下「CU-TMDUセンター」）は、2010年11月23日、チュラロンコーン大学（以下「CU」）歯学部のナヴァマラチャビルの11階に開設されました。最寄りの駅は、スカイトレインの中心駅であるサイアム駅です。本センターはサイアム駅に隣接しているノボテルホテルの裏にあり、駅からは徒歩5分の距離にあります。本センターには、多くの皆さんが活用できるようにTV会議システム、パソコンなどのOA機器、本学のパンフレット、Annual News、概要等の刊行物を備えています。また、ミーティング、各種の説明会・相談会、TV会議システムを利用したセミナーなどに活用頂けるようになっています。

センターの主な目的は次の通りです。

- (1) 医歯学教育や共同研究の推進
- (2) 日本への留学希望者への情報提供
- (3) タイの歯学日本留学生同窓会へのサポート
- (4) タイの在留邦人への健康教育支援及び医療関連情報の提供



(左からスコンタJDAT会長、川口教授、大山学長、小島大使、大橋日本人会会長、ピロム学長；開所式にて)

## <これまでのセンターの動き>

### ◆ 2010年11月23日

#### 本センター開所式

大山本学学長、ピロム・CU学長、小島日本大使、大橋バンコク日本人会会長他多くの関係者にご出席頂きました。

### ◆ 2011年6月2日

#### センターのTV会議システム設置

本センターにTV会議システムを設置しました。以下は主な活用実績です。

- 1) タイ保健省歯科保健部長が出席した本校の「アジアにおけるオーラルヘルスプロモーションの展望とエビデンス」シンポジウムを中継しました。  
(2011年6月14日)
- 2) 国際サマープログラムの講義を中継しました。  
(2011年8月29日)
- 3) 両大学の歯髄生物学分野の大学院講義を中継しました。  
(2011年9月30日)



(センターの様子)

4) 両大学の教職員間の情報交換会を実施しました。(2011年6月22日、23日、27日、29日、7月1日、5日、6日、10月18日他)

◆2011年7月7日

#### 大山学長がチュラロンコーン大学から名誉博士の学位授与

大山学長は、本センター設立など大学間協力のみならず、長年にわたる王様プロジェクト(無歯科医地区での巡回診療)にボランティアとして参加し、タイの歯科保健の向上に貢献したことが評価され、シリントン王女から名誉博士の学位を授与されました。

◆2011年8月3日

#### 若手研究者会議の開催

両大学の補綴分野をはじめ他の若手研究者等が本センターを会場として、合同研究会を実施しました。本学からは田上歯学部長他3名が参加し、今後の研究交流のあり方等について意見交換を行いました。

◆2011年10月1日から2012年2月23日まで

#### 医学科学生の派遣

医学科4年生の足立由布子さん、竹谷陽子さんがプロジェクト Semester 期間にCU医学部において研究実習を行いました。なお、2011年10月27日から2012年1月4日まで、タイの大洪水の影響で一時帰国というアクシデントがありましたが、再度渡タイし、研究も無事に終わることが出来ました。

◆2012年10月

#### 歯髓生物学分野の大学院講義

4回にわたり本学の歯髓生物学分野の大学院の講義をCU-TMDUセンターに中継し、CU歯学部の歯髓生物学の教員、大学院生、学生に対し実施しました。(10月5日、12日、19日、26日)

◆2012年10月9日から2013年2月19日まで

#### 医学科生の派遣

医学科4年生の船山陽平さん、中沢真依さんがプロジェクト Semester 期間にCU医学部において、研究実習を行いました。

### 「知と癒しの匠」大山学長がタイ王様プロジェクトにボランティア参加

2012年12月16日から12月20日まで、大山学長は、タイの王様プロジェクトに参加しました。このプロジェクトは、プミポン国王の提唱によりCU歯学部が中心となり、無歯科医師地区の人々に対し無料で歯科診療を行うものです。大山学長は、過去10年間にわたりこのプロジェクトにボランティア参加しており、今年も、12月16日から



(CU歯学部同窓会長から大山学長に感謝の辞と記念品の贈呈、左からスラシット前学部長、ベチャラ会長、同左秘書役、大山学長)



(メコン川からラオスを望む)

学校に作られた仮説の診療会場に行きました。どこの受付会場には、先生方が到着する前から多くの人々が集まっており、朝8時半から夕方6時過ぎまで、ほとんど休憩なしで診療を行いました。当地では、10年ぶりの歯の診療のため、連日、1,500人近い住民が会場に集まり、義歯関係では、1日100人以上の患者が来ていました。地元の皆さんはとても協力的で、食事や飲み物を手配の他、地元の高校生はアシスタントをしてくれました。高校生にとって、初めての経験でしたが、とても献身的で



(仮設診療所の風景)

者さんの中には、ベトナム語、ラオ語そして東北タイの方言のイサーン語をしゃべる人と様々でしたが、大山学長と患者さんとのコミュニケーションは、終始、とても和やかなものでした。また、ボランティアの高校生とのコミュニケーションも楽しそうでした。

大山学長の義歯技術は、タイ人歯科医や歯科技工士には、垂涎的であり、皆さん、大山学長に敬意を払ってその診療の様子を注意深く見てい

12月20日までバンコクから750km離れたメコン川を挟んでラオスと国境を接した東北タイのナコンパノム県での活動に参加しました。

タイの参加者は、CU歯学部の実習生や卒業生の歯科医師、看護師、検査技師、歯科技工士およそ150人に、地元県の歯科医師、ボランティアなど250人が加わり、総勢400人にも上る大規模なものでした。

毎朝、宿泊ホテルから小一時間かけて地元の中



(早朝から受付に集まった地元の皆さん)

した。大山学長も、細心の注意を払いながら、丁寧に治療を行っていました。

大山学長は、一人のボランティアに徹して、昼食も地元の皆さんが作ってくれた料理をタイ人の先生方と一緒に食べ、ほとんど、休憩も取らず、献身的に診療をされていました。大山学長は、タイ語が流暢なので、患者とのコミュニケーションは、不自由なことはありませんが、この地方は、タイ人の他、ラオス人、ベトナム人が住んでおり、お年寄りの患



(大山学長による治療)

ました。

大山学長は、とても丁寧に誠実に患者に接しており、いずれの患者も大山学長に義歯を装填して貰った時、とても満足そうにお礼を言っていました。

今回は、偶然にも10年前に大山学長がボランティア参加した時のアシスタントをしていた若い歯科医と10年ぶりに再会するという奇跡的な出来事もありました。

「継続は力なり」と言いますが、貧しく開発も遅れている東北タイで、タイ人と共に無報酬の献身的なボランティア活動を10年間続けておられる大山学長には、ただただ頭が下がる思いです。まさに、「知と癒しの匠」を実践されていました。

## 海外学生研修及びタイの在留邦人の「歯」の健康教育協力

2011年9月3日から9月9日の7日間にわたり、本学の海外研修奨励制度による学生派遣研修及び「東南アジアにおける医歯学教育研究拠点推進事業—歯学教育の標準化を目指して」の一環として、タイの在留邦人の健康教育への協力、歯学部学生による日本・タイの学生交流、教員による歯学教育標準化研究調査及び元留学生との交流が行われました。参加した本学関係者は次の通りでした。計22名

派遣教職員：大山喬史、小野芳明、松本芳郎、中島雄介、小林宏明、黒田真司、川口陽子、森尾郁子、福井雄二、關奈央子、横森健治、後藤嘉信（敬称略）計12名

派遣学生：（歯学科4年生）秋草宏伸、内川雄太、川村梨恵、呉圭哲、河野吏紗、松本拓也（口腔保健学科口腔保健衛生学専攻4年生）尾花三千代、佐藤未奈子、竹之内茜、内藤美生（敬称略）計10名

### <学生の海外研修>



（CUの学生と共に。人体博物館前にて）

学生の海外研修につきましては、2012年5月から参加学生の選考、英語事前研修、健康教育事前研修、危機管理説明会などの準備が行われ、9月3日、学生は教職員と共にバンコクに到着しました。

翌9月4日、一行は、本センターにて、CU歯学部のトンチャイ先生から英語による「タイ歯科保健システムや歯科保健状況について」の講義を受けたあと、CU歯学部の学生たちと交流会を行い、施設見学では、本センターのあるビルの9階に新しくオープンした人体博物館を大変興味深く見学しました。5日は、シーナカリンウイロット大学において、同歯学部の学生との交流会、施設見学の他、同大学

人間科学部で日本語を学んでいる学生との交流会を行いました。関係者によれば、このような本格的な日本人学生との交流は初めてということでしたが、活気にあふれた交流会となりました。6日は、レイ

ンボー幼稚園で歯磨き指導を行った後、本学の元留学生が診療している歯科医院を見学しました。その多くは、在留邦人が通院している歯科医院で、日本語の案内が至る所にありました。9日は歯科相談会に参加し、児童、子供たちに歯科健康教育や歯磨き指導を行いました。

参加したどの学生も今回の研修に満足していましたが、コミュニケーションに課題が残るということを実感出来たと、研修を振り返っていました。

### <レインボー幼稚園での歯磨き指導>

健康教育活動として、レインボー幼稚園での歯磨き指導は、9月6日に行われました。当日は、あいにくの雨でしたが、幼稚園には、浅見園長はじめ先生方、一部の父兄、そして多くの日本人の園児達が待っていました。教職員と学生は4歳児組と5歳児組の2組に分かれ歯磨き指導を行いました。学生たちは、工夫を凝らしアンパンマンと白雪姫の寸劇をしながら、園児たちに歯磨きの大切さとその方法を優しく指導しました。ある園児のお母さんからは「キャラクターを使った歯磨き指導で、歯医者さんは怖いという子供のイメージが変わった」と感想を頂きました。



(レインボー幼稚園児達との集合写真)

### <歯の健康セミナー>

歯の健康セミナーと健康相談会を合わせて、9月9日、インペリアルクイーンズパークホテルにおいて開催しました。このセミナーと相談会は、バンコク日本人学校の協力のもと、日本人学校の生徒、児童そして父兄を対象にしたもので、同校にとって、このような大規模な歯の健康セミナーや健康相談会が行われるのは、初めてということもあり、開催当



(大山学長の挨拶)



(歯の健康セミナー)

日は、多くの日本人親子が参加しました。

冒頭、大山学長にご挨拶いただき、本学は、「知と癒しの匠を創造」をモットーに教育を行い、長年のタイの大学との協力関係をもとに本センターを設立したこと、今回は、本センターの目的の1つである

タイの在留邦人への健康教育への協力、情報提供のために、日本人学校の生徒児童、父兄の皆さんを対象に歯の健康セミナー及び歯の相談会を行い、今後とも在留邦人への支援を行いたいと述べられました。

歯の健康セミナーでは、「むし歯予防」「矯正歯科」「口臭予防」「ホワイトニング」「歯ぎしり」「歯周病予防」「口腔がん」「インプラント治療」の8つのテーマで講演が行われました。参加者の多くは、「むし歯予防」「矯正歯科」などに高い関心を示し、講演に熱心に耳を傾けていました。

### <歯の健康相談会>

歯の健康相談会には、77名の親子が参加し、個別相談が行われました。ここでは、本学の教員とタイの日本人留学生同窓会（The Japan Dental Alumni of Thailand: JDAT）のタイ人歯科医師が協力して相談を受けました。相談のうち、4割は歯科矯正、3割は小児歯科、残り3割はその他の分野に関する相談でした。相談者は、大変熱心で当初の予定時間を大幅に超過しました。

また、相談の順番待ちの時間を利用して行った、本学の学生による児童、子供たちのための歯磨き指導では、楽しそうに親子で歯磨きを学ぶ姿が見受けられました。

相談会の参加者から、「分かりやすく、対応が丁寧であった」、学生の歯磨き指導に対しても、「学生の対応に好感が持てた」「とても良かったので、もっと広く知らせたらどうか」などの感想が寄せられました。



(歯の健康相談会 個別相談)

### 歯学教育カリキュラム調査



(調査を終えた両大学関係者)

9月7日、今年度から開始された「東南アジアにおける医歯学教育研究拠点推進事業～歯学教育の標準化を目指して～」の活動の一環として、歯学教育標準化のガイドライン策定のための調査を行いました。本学の教員からのCU歯学部のカウンターパートの先生方からの歯学教育に関する聞き取り調査の他、教育現場の視察や意見交換を行いました。この結果は、2012年11月に本学で開催された東南アジア歯学教育ワークショップの基礎情報として活用されました。

## タイの本学留学生同窓会との交流

9月8日、元日本歯学留学生の同窓会のJDAT主催による今回の海外派遣研修に参加した学生、健康教育協力事業に参加した教職員の歓迎夕食会がクイーンズパークホテルで行われました。冒頭に大山学長がご挨拶されたのち、本学の留学生のトサボン先生がナレスワン大学歯学部長に就任したことの紹介があり、出席者一同で同先生の学部長就任をお祝いしました。

元留学生の中には、家族で参加する人もおり、昔話に花を咲かせ、お互いの近況報告をするなど、会場は、“TMDUファミリーの会”の集いとも言える雰囲気、終始和やかに交流が行われました。



(トサボン新歯学部長を祝福する大山学長)



(JDATメンバーとの集合写真)

## チュラロンコン大学医学部関係者と学術交流会議を開催

2012年9月26日、CU医学部のソフォン学部長一行6名が本学を訪問し、本学から湯浅医学部長他14名が参加して、学術交流会が医学部会議室行われました。

会議では、両大学の協力について協議がなされたほか、プロジェクト Semester 期間を利用して、昨年度CU医学部に派遣された医学科5年生の竹谷陽子さんがCUでの研究結果を発表すると共に平成24年秋に今年度派遣される医学部4年生の船山陽平君と中沢真依さんが研究計画を発表して、派遣の受け入れの協力を要請しました。最後に双方とも今後の協力関係を促進することを確認しました。



(会議冒頭の集合写真)

## 拠点スタッフ紹介

### TMDU国際交流センター特任准教授 小野田 勝次

2012年8月1日からCU-TMDUセンターを担当していますが、当面の間は、タイと日本を往復しながらの業務になります。不慣れな点が多々ありますので、皆様のお力を借りながら、微力ながらCU-TMDUセンターの為、全力を尽くしたいと思っています。本学では、第1号館西4階の国際交流センターにありますので、何かありましたら、気軽に声をかけて下さい。よろしくお願いいたします。



(小野田とアティパン先生)

### CU歯学部アティパン准教授 (Dr. Atiphan Pimkhaokham)

It is a great opportunity to be the first coordinator of the CU-TMDU Research and Education Collaboration Center. I have high hope that an increasing number of activities will be continued by the Center and supported by everyone. I also believe that the Center will be the first place that Thai dentists visit whenever they are curious about TMDU. In the same way, I hope the premier spot for Japanese dentists to consult with if they need information about CU. Please feel free to get in touch with me.

### 街角トーク イン バンコク

#### あなたの誕生日は何色？

タイでは、曜日に色がついているのをご存知でしょうか。タイは、熱心な仏教国で、自分の生まれた曜日を大切にしています。日曜日（赤色）、月曜日（黄色）、火曜日（ピンク）、水曜日（緑色）、木曜日（黒色）、金曜日（青色）、土曜日（紫色）です。現プミポン国王は月曜日生まれで、黄色です。現在、プミポン国王は84歳です。数年前までは、国王の長寿を願って、国民は、月曜日は黄色のシャツを着て、国王の長寿を祈りました。ところが、2008年11月25日から12月3日にかけて黄色のシャツを着た反タクシン派によるバンコクの空港占拠事件が起こりました。これ以来、黄色のシャツを着ていると、反タクシン派と間違えられるため、皆さん黄色のシャツを着ないようになりました。ある日、筆者が黄色のシャツを着ていたら、タイ人の友人から着替え！と真顔で注意されました。皆さん、タイで黄色のシャツを着るときは、ご注意下さい。

#### 拠点所在地

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,  
11 floor Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University, Henri-Dunant Road, Bangkok, Thailand

#### 本学内事務局

第1号館西4階 国際交流センター 電話 03-5803-4984 E-mail bkk.onoda.isc@tmd.ac.jp 文責：小野田勝次